



## シンポジウム「被災地におけるローカル・コモنزの再生」

神戸大学広報室

神戸大学大学院工学研究科槻橋研究室主催で1月10日(土)に「被災地におけるローカル・コモنزの再生～岩手県大槌町における復興過程から～」と題したシンポジウムを別紙の通り開催します。

槻橋研究室は東日本大震災直後に全国の建築専攻の学生たちに呼びかけて「失われた街」模型復元プロジェクトを展開してきました。2013年に大槌町で模型ワークショップをしたことがきっかけとなって、以後2年間、大槌町図書館の復旧事業として位置づけられている「大槌メディアコモنز(MLA)基本構想、基本計画」にも携わってきました。

その過程で、槻橋研究室は模型ワークショップで収集された街の記憶内容から大槌町に共有されていたものを導き出すことを目的とした科研費(挑戦的萌芽研究)を取得。今回、自然・歴史・文化を核とした復興のあり方について考えるシンポジウムを企画したものです。建築やまちづくりではあまり馴染みがないローカル・コモنزという概念を、地域再生のプロセスの中に組み込み、官学公民協働の復興の形を探っていきます。

直前のお知らせとなり恐縮ですが、ご都合がよろしければ是非お越しください。

問い合わせ先 神戸大学大学院槻橋研究室



科学研究費補助金 挑戦の萌芽研究 (研究代表者：槻橋修 研究課題番号 26630274)「持続可能な都市・地域デザインにおけるcommonsの導入条件とその方法に関する研究」

シンポジウム

# 被災地におけるローカル・ commonsの再生

～岩手県大槌町における復興過程から～

<プログラム>

基調講演

**秋道智彌** (総合地球環境学研究所 名誉教授/生態人類学)

話題提供1

**鷺見哲也** (大同大学工学部建築学科 土木・環境専攻准教授/流域水文学)

話題提供2

**池ノ谷伸吾** (一般社団法人 RING-PROJECT 代表/大槌町)

話題提供3

**小池淳司** (神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻教授/土木計画)

<コメンテーター>

**山崎寿一** (神戸大学大学院工学研究科 建築学専攻教授/農村計画)

**井料隆雅** (神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻教授/土木計画)

<モデレーター>

**槻橋修** (神戸大学大学院工学研究科 建築学専攻准教授/建築デザイン)

<日時>

1月10日[土]

13:30 > 16:00

<会場>

KIITO

デザイン・クリエイティブセンター神戸303号室  
兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

<問い合わせ先>

神戸大学大学院工学研究科槻橋修研究室(槻橋・武田) TEL: 078-335-5512

\*本シンポジウムは阪神淡路大震災20周年記念「加川広重巨大絵画が繋ぐ東北と神戸プロジェクト」(2015/1/10-1/18)の関連イベントとして位置づけられています。

URL: <http://www.kagawahiroshige.com>



# シンポジウムについて：コモンズの再生による新しい地域再生モデルを目指して

東日本大震災からまもなく4年を迎え、国が定めた集中的復興期間の5年間も残り1年あまりとなります。防潮堤建設や土地の高上げ、住宅再建など、取り組むべき課題は山積し、複雑に絡み合い、被災地に暮らす人々にとって復興への実感を得られない日々が続きます。また、復興後には人口減少のみならず街の姿も大きな変容が余儀なくされる中で、地域コミュニティを再生していくためには、その土地に長く培われてきた有形無形の共有資源（＝ローカル・コモンズ）の再生が極めて重要になってきます。このシンポジウムでは、岩手県大槌町の復興現場におけるローカル・コモンズ再生の取り組みを事例として取り上げ、民族学、計画学、政策理論、復興まちづくり等の観点からローカル・コモンズの再生による新しい地域再生モデルについて討論します。



## < 登壇者プロフィール >

### 秋道智彌（総合地球環境学研究所 名誉教授／生態人類学／理学博士）

1946年生まれ。東京大学大学院博士課程修了。国立民族学博物館教授、研究部長、総合地球環境学研究所教授、副所長、研究推進戦略センター長を経て、同研究所名誉教授。専攻は生態人類学、理学博士。近著に『海に生きる』『漁撈の民族誌』『コモンズの地球史』、編著に『日本のコモンズ思想』『日本の環境思想の基層』『大槌の自然、水、人』（東北出版企画）。

### 鷲見哲也（大同大学工学部建築学科 土木・環境専攻准教授／流域水文学／博士（工学））

名古屋大学大学院博士後期課程修了、名古屋大学大学院講師等を経て現職。降雨による湧水河川への流出や物理環境の研究が中心。2000年東海豪雨災害調査をはじめ、主に中小河川の豪雨災害研究に携わる一方で、河川や湧水の生き物の基盤となる環境について解説。2011年に津波で被災した岩手県大槌町では2002年から湧水環境調査。大槌町復興まちづくり創造懇談会委員。

### 池ノ谷伸吾（一般社団法人 RING-PROJECT 代表／大槌町）

埼玉県越谷市出身、1993～2009年、都内を中心にDJをしていたが、東日本大震災を契機に岩手県大槌町に移住。地域の仲間とともに一般社団法人 RING-PROJECT を設立。被災者の仕事を創出や地域におけるコミュニティの再生のための事業、地域における生活再建、生活環境の改善、地域経済の自立に向けた事業などを展開している。

### 小池淳司（神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻教授／土木計画／博士（工学））

1968年三重県鈴鹿市生まれ。1994年岐阜大学大学院工学研究科土木工学専攻修了。岐阜大学助手、長岡技術科学大学助手、TNO オランダ応用科学研究所客員研究員、鳥取大学大学院准教授を経て2011年より現職。専門は土木計画学・応用経済学。

## > コメンテーター

### 山崎寿一（神戸大学大学院工学研究科 建築学専攻教授／農村計画／博士（工学））

1957年金沢市生まれ。1980年神戸大学工学部環境計画学科卒業、同大学院博士課程、豊橋技術科学大学助手、大阪市立大学助教授、神戸大学准教授を経て、2010年より現職。

### 井料隆雅（神戸大学大学院工学研究科 市民工学専攻教授／土木計画／博士（工学））

1996年東京大学理学部物理学卒業、2002年同大学院工学系研究科社会基盤工学専攻博士課程修了、2003年より神戸大学工学部助手、大学院工学研究科助教・准教授を経て2013年より現職。

## > モデレーター

### 槻橋 修（神戸大学大学院工学研究科 建築学専攻准教授／建築デザイン／博士（工学））

1968年富山県生まれ。京都大学工学部建築学科卒業、東京大学大学院博士課程単位取得後退学。東京大学生産技術研究所勤務を経て、2002年ティーハウス建築設計事務所設立。2009年より現職。

## < プログラム >

13:00 会場

13:30 開会

13:40 基調講演 秋道智彌教授

「大槌町のローカルコモンズとその再生について」(仮)

14:10 話題提供1 鷲見哲也准教授

「大槌町の多機能アイコンとしての湧水・自噴井」

14:30 話題提供2 池ノ谷伸吾氏

「震災後の大槌に育まれる人的ネットワーク」(仮)

14:50 話題提供3 小池淳司教授

「地方再生の経済的・財政的課題」

15:15 ディスカッション

16:00 閉会

## < 日時 >

1月10日 [土]

13:30 > 16:00

## < 会場 >

### KIITO

デザイン・クリエイティブセンター神戸 303号室  
兵庫県神戸市中央区小野浜町1-4

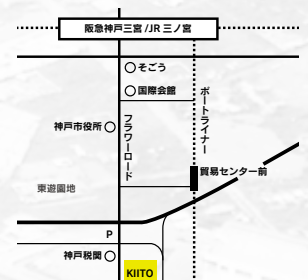
## < アクセス >

### ○電車

JR、阪急、阪神線、三宮駅より南へ  
徒歩20分

ポータライナー貿易センター駅より  
徒歩10分

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください



## < 問い合わせ先 >

神戸大学大学院工学研究科 槻橋修研究室（槻橋・武田）

TEL：078-335-5512 FAX：078-335-5513